

講義名	ジェンダー論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	桑原 桃音 / 水野 英莉		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2019年度 人間社会学部 観光学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要 身近な話題から理解するジェンダー入門 ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性(女らしさ、男らしさ)のことです。この講義では、受講生にとって身近な素材から、ジェンダーにかかわる常識や当たり前を問い直していきます。この問いを繰り返すことにより、柔軟な考え方や幅広い視野を手に入れることを目的としています。ここで得る知識と視野は、日常生活や自分の人生設計(進路選択)を考えるうえで役立ちます。さらに、自分だけでなく、周囲の人の生きやすさを考える手立てとなります。
--

到達目標 「女ならば/男ならば-しなければいけない」という「常識」に対する客観的な視点と、なぜそのような「常識」があるのかを考察する力を身につけることを目指します。単なる知識の詰めこみではなく、なぜ自分がそう考えるのかを他者に伝える力も身につけていきましょう。
--

提出課題 講義内で提出するワークシートや小レポート 中間と期末に課されるレポート

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック 前週に行った課題やレスポンスでのコメント・質問に対し、回答します。

評価の基準 平常点(50%)：出席、毎回配布するワークシートや小レポート レポート(50%)：講義内容および教員が指示した文献の内容をふまえて、論述する

履修にあたっての注意・助言他 Responというアプリを利用するので、初回授業の指示に従って速やかに準備を整えること。 毎週講義前にはRyuka Portalを確認すること。 教科書を使用するので、必ず準備すること。 下段にある「双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述」をよく読んでおくこと。
--

教科書 .ジェンダー論をつかむ。 千田有紀ほか編 有斐閣 1900 978-4-641-17716-1

プリント資料及び参考文献 資料必要に応じて、Ryuka Portalを配布する。参考文献も講義中に適宜指示する。講義では、理解を深めるため、映像資料やウェブ上のサイトなども利用する。 参考文献 加藤秀一『はじめてのジェンダー論』有斐閣、2017年、19000円、ISBN:978-4-641-15039-3 桑原桃音『大正期の結婚相談』晃洋書房、2017年、3000円、ISBN:978-4-771-028661

授業計画 1.性別とは何か (unit1) 2.ジェンダーをとらえなおす (unit2) 3.近代家族とジェンダー (unit4) 4.無償労働とケアワーク (unit14) 5.ストリートハラスメント、デートDV (unit15) 6.性と生殖に関する権利 (unit20) 7.中間レポート 8.女性の労働と賃金格差 (unit17) 9.職場慣行 (unit18) 10.かかれたカリキュラム (unit11) 11.教育の男女格差 (unit12) 12.参政権と政治参加における男女格差 (unit18) 13.クィアとトランスジェンダー (unit22) 14.最終レポート 15.まとめ
--

授業形態(アクティブ・ラーニング) <input type="checkbox"/> ア：PBL(課題解決型学習) <input type="checkbox"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) <input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> エ：グループワーク <input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション <input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 予習：講義前に教科書を一読し、気になるところなどにアンダーラインを入れて、思いついたことをメモする。 復習1：講義内で得た情報をまとめたノートを振り返る。わからないところを調べる。 復習2：講義で得た知識を踏まえて簡単な文章を書く。それが小レポートやレポートにつながっていく。 自主学習時間：計60時間
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 スマートフォン、PC、タブレット等を準備してください。 教材はパワーポイントのビデオ、音声ファイル、PDF等でRyukaPortal等にアップロードします。 アプリとしてはZoom、Skype for Business、Respon、Teamsのいくつかを使う予定です。 また学内メールアドレス、パスワードをあらかじめ確認しておいてください。

実務経験の有無及び活用

備考
